

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	◎	美容室（経営者）	来客数の動き	・各地でイベントが実施されるようになったことに加え、ボーナス支給月であったこともあり、人流が増加した。
	○	商店街（事務局長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少や政府の行動制限の緩和を受け、週を追うごとに街の人流は増加している。
	○	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス発生以前の水準までではないが、少しずつ夜の街に人が戻ってきており、特に週末は街がにぎわっている。また、新規出店や祝い事に関する注文も増加している。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・週末や休日は来客数、客単価共に増加している。
	○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・各地でイベントやスポーツ大会が実施されるようになったことに加え、旅行客も多く訪れるようになり、以前より人の動きが良くなっている。
	○	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が収束傾向にあり、来客数が増加している。
	○	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・期待していたほど来客数は伸びていないが、全体的に悪くない水準で推移している。
	○	家電量販店（副店長）	販売量の動き	・依然として半導体不足の影響で一部の商品に影響が出ているものの、行動制限が緩和されたことで客の動きが良くなっている。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が収束傾向にあり、ビジネス客や観光客が少しずつ増加している。
	○	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が収束傾向にあることに加え、県民割等の効果もあり、人流が回復傾向にある。
	○	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が収束傾向にあることに加え、県民割等の効果で個人、グループ共に旅行の予約数が増加している。
	○	競輪競馬（マネージャー）	販売量の動き	・3回目のワクチン接種が進み、手短な遊興としてポートレースの投票が増加している。
	○	美容室（経営者）	お客様の様子	・人の動きが増加している。
	○	設計事務所（所長）	単価の動き	・建築単価が引き続き上昇している。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・ブロック割の影響で、観光客は増加している。一方、夜の街の人はコロナ禍前の水準までは回復しておらず、状況は以前と大きく変わらない。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・来街客は多少増加傾向にあるものの、仕入価格の高騰などで必要以上に経費が掛かっており、依然として厳しい状況が続いている。
	□	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・人々の外食自粛ムードが緩和されてきており、飲食店への納品は少し増加したが、状況はあまり変わらない。
	□	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が収束傾向にあるものの、景況感はまだあまり変わらない。
	□	スーパー（企画担当）	単価の動き	・商品の値上げが続いており、消費者がまとめ買いを行う傾向にあるが、利益率は以前とあまり変わらない。
	□	コンビニ（総務）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染は収束傾向にあるものの、物価上昇の影響により、来客数は伸びていない。
□	コンビニ（商品担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染が収束傾向にあり、売上は増加したが、ウクライナ情勢の影響で光熱費をはじめとする販管費が上昇しており、利益率は以前と変わらない。	
□	衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・依然として新型コロナウイルス発生前の水準と比較して低調な状況が続いている。	
□	家電量販店（店員）	販売量の動き	・季節商材の販売は好調であるが、その他の商品の動きは鈍く、全体としては変わらない。	
□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・メーカーの生産台数の遅れから、依然として登録台数が前年を下回る状況が継続している。	

	□	乗用車販売店 (役員)	それ以外	・メーカーの生産状況次第で業績が大きく変わる。生産が回復すれば売上も改善すると思うが、今のところ状況は変わらない。
	□	タクシー運転手	来客数の動き	・街に少しずつ人が戻ってきているように感じるが、気温上昇の影響で遍路客が減少しており、全体的には変わらない。
	□	通信会社(支店長)	来客数の動き	・依然として来客数が新型コロナウイルス発生前の水準と比べて低位で推移している。
	□	観光遊園地(職員)	お客様の様子	・観光地や交通機関における客の動きは以前とあまり変わらない。
	▲	一般小売店〔書籍〕(営業担当)	販売量の動き	・梅雨が早く明けたことにより多少落ち込みは抑えられたが、店頭売上は前年比でマイナスであった。
	▲	スーパー(店長)	お客様の様子	・客の来店頻度、買上点数共に減少傾向にある。
	▲	スーパー(財務担当)	販売量の動き	・各種食品の値上げにより、買上点数が減少している。
	▲	乗用車販売業(営業担当)	販売量の動き	・半導体不足や上海のロックダウン等の影響で新車が届かず、売上につながらない。
	▲	タクシー運転手	お客様の様子	・梅雨の時期となり昼の人出は減少した。また、夜の街も家で晩酌をする人が増えたため、にぎわっていない。
	▲	通信会社(営業部長)	販売量の動き	・以前と比べ販売価格が上昇しており、売上が減少している。
	▲	通信会社(社員)	お客様の様子	・客への提案時の反応から、財布のひもが固くなっていると感じる。
	×	商店街(代表者)	お客様の様子	・少子高齢化による生産年齢人口の減少、消費行動の多様化、海外金利の上昇による日本経済への影響等、消費経済が上向き要素が見つからない。
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・原材料である綿糸価格が値上がりしていることに加え、原油価格高騰により様々なコストが上昇しているが、新型コロナウイルスの感染は収束傾向にあるため、値上げ後も受注は順調に推移している。
	○	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・国の公共工事の受注量が増加した。
	○	輸送業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量が順調に推移している。新型コロナウイルスに関するニュースも減り、全体的な雰囲気は良くなった。
	○	通信業(総務担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの感染が収束傾向にあり、社外イベントや社会貢献活動等が再開され始めている。
	□	一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・先進国を中心としたワクチン接種の進展により、経済活動が再開され、景気は回復基調が続いている。一方、世界的な半導体不足による調達環境の悪化や原材料価格の高騰、ウクライナ情勢等の問題により、足元では先行き不透明な状況が深まっている。
	□	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・依然として電子部品等の材料の入荷が遅れており、状況は余り変わらない。
	□	建設業(経営者)	競争相手の様子	・国及び自治体の公共事業の発注並びに受注が堅調であり、本業の業績はやや良い状況が続いている。新型コロナウイルス新規感染者数の減少や規制の緩和により、学協会等のセミナーや交流、就職活動等が再開されているが、全体的な景況感は余り変わらない。
	□	輸送業(営業)	受注量や販売量の動き	・依然として取扱物量が減少傾向にある。
	□	輸送業(経理)	受注量や販売量の動き	・出荷量については、海外向け、国内向け共に大きな増減はみられない。
	□	金融業(副支店長)	取引先の様子	・依然として新型コロナウイルス感染症が経済に与えている影響や、仕入価格の上昇分を十分吸収できるだけの価格転嫁は進んでいない。
	▲	木材木製品製造業(営業部長)	受注価格や販売価格の動き	・売上は伸びているが、仕入価格も高騰しており、利益率は減少している。原油価格高騰による電気料金の上昇や実質賃金の停滞等、今後も不安な要素は多い。
	▲	通信業(企画・売上管理)	受注量や販売量の動き	・6月は特に都市部でのスポンサー広告出稿が不調であった。
	▲	税理士事務所	取引先の様子	・売上が悪化しており、利益率が低下している。

	×	農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・青果物の卸売価格は、主要品目の一部品目を除き荷動き、価格とも低迷している。加えて、農業生産資材は肥料価格の暴騰等により高止まりの状態が続いており、生産農家の所得は大きく減少している。
	×	化学工業（所長）	それ以外	・ウクライナ情勢による悪影響が拡大している。
雇用 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	*	*	*
	□	人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスが完全には収束していないため、依然としてイベント等の集客行事は人数の制限を遵守した上で開催するという状況は変わらない。
	□	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求職者数の派遣の登録は一定数あるが、派遣就労にはつながらず、景気は変わらない。
	□	求人情報誌（営業）	求職者数の動き	・中途採用で人材を募集している企業には、応募数が少なく採用の見込みが立っていない状況が続いているところも多い。特に中小企業では人手不足が続いており、景気は低調なまま推移している。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・依然として景気が悪い状況が続いている。
	▲	職業安定所（求人開発）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で8か月連続での増加となっている。また、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいた宿泊業、製造業、サービス業等での求人数が以前の水準まで回復している。
	×	—	—	—